

TWISTED LIBRARY ROOM

GIII vol.124

本と人と作品の空間を考える 01

ねじれた
ライブラリー
ルーム

出品作家
松延総司

TWISTED LIBRARY ROOM

2018.8.15 [水] - 9.17 [月・祝]

*火曜日休館

開館時間 10:00-20:00

会場 熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

主催 熊本市現代美術館 [熊本市、公益財団法人熊本市美術文化振興財団]

入場無料 ADMISSION FREE

熊本市現代美術館

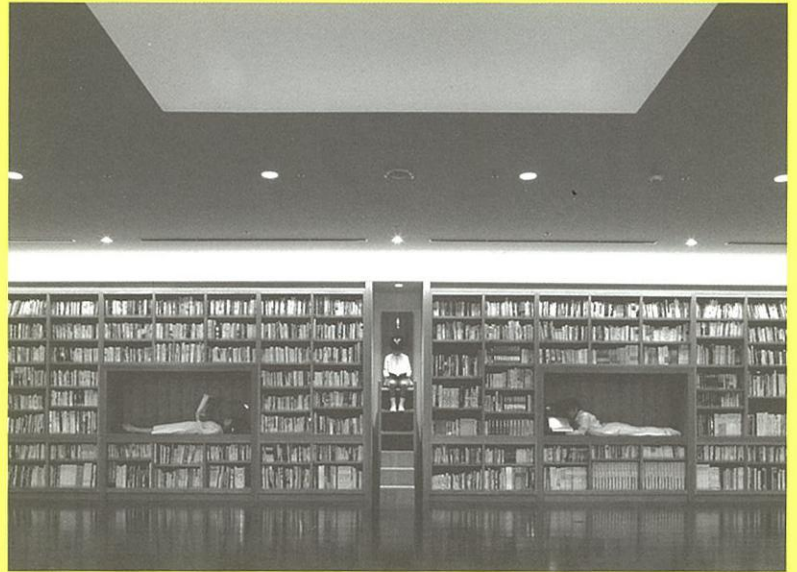
CAMK
Contemporary Art Museum, Kumamoto

ねじれた
ライブラ
ー
ーム



GIII vol.124

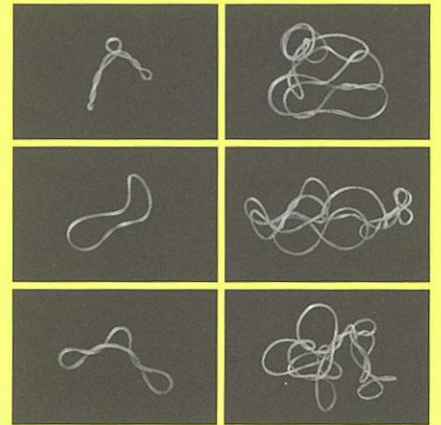
本と人と作品の空間を考える 01



マリナー・アブラモヴィッチ《Library for Human Use》2002

熊本市現代美術館のフリースペース「ホームギャラリー」は、2002年の開館当初から、来館者によって多目的に活用されてきました。中でも、マリナー・アブラモヴィッチによる壁面書棚の作品《Library for Human Use》(2002)は、誰しもを受け入れる「アートと本のあるくつろぎの空間」をつくりあげています。

この「くつろぎのホームギャラリー」に対し、本展では、本と人と作品の別な在り方を熊本出身のアーティスト、松延総司とともに「ねじれたライブラリールーム」として提案します。「ねじれたライブラリールーム」では、通常開架していない展覧会カタログや作品集、アートブックなどを手にとって読むことができます。また、これらの本とともに、松延の作品を展示します。輪ゴムをねじった作品《Twisted Rubber Band》(2012-)など、日常の中にある物に、ほんの少し手を加えた松延の作品は、独特の存在感を静かに放ち、ささやかな刺激のある読書空間をつくりだすでしょう。(池澤茉莉)



左列：松延総司《Twisted Rubber Band》2012- 輪ゴム
右列：松延総司《Twisted Rubber Band (Letter)》2018 タイプCプリント
全て作家蔵 © Soshi Matsunobe, courtesy of Hagiwara Projects

松延総司 | Soshi Matsunobe

<http://matsunobe.net>

1988年熊本生まれ、京都と滋賀を拠点に活動。京都嵯峨芸術大学短期大学部卒業。線と影をキーワードとし、日常の風景の中にある物に輪郭を与え、観る者の感覚を研ぎ澄ます作品を制作している。主な個展に、「Knit the Knot」(HAGIWARA PROJECTS [東京]、2016)、「Twisted Rubber Band / Humming」(Gallery PARC [京都]、2013)など。

関連イベント

[アーティストトーク & ワークショップ]

日時：8月18日(土) 14:00-15:30

場所：熊本市現代美術館 ギャラリーⅢ

講師：松延総司(出品作家)

様々な美術作品を、本に関するキーワード(文字、モノクローム、アーカイブ、立方体など)から読み解きながら、自身の制作における方法論や、そのコンセプトについて話します。

本と人と作品の空間を考える

日々どのように本を活用するか考え、試行錯誤するシリーズ。今回は「ホームギャラリー」の別室をギャラリーⅢにつくります。



当館は交通アクセスの良い熊本市街地中心部にあります。できるだけ公共交通機関をご利用ください。

- 阿蘇くまもと空港から/リムジンバス「熊本駅前」「熊本港」行(約40分)
 - JR熊本駅から/市電「健軍町」行(約15分)
 - JR新水前寺駅から/市電「熊本駅」「上熊本駅」行(約10分)
- *いずれの場合も「通町筋」バス停・電停下車(徒歩3分)

860-0845 熊本市中央区上通町2-3 びぶれす熊日会館3階
TEL 096-278-7500 FAX 096-359-7892
URL <http://www.camk.jp>